

共立医療会で「東北関東大震災対策本部」立ち上げ

職員・友の会で募金活動ひろがる！

共立医療会では、今回の大震災に対し対策本部を立ち上げ、日常診療・介護活動の確保、現地支援活動について取り組むこととしました。本部長・杉山理事長を先頭に毎日奮闘しています。3/18午前は計画停電の影響で診療ができないため、職員・友の会総出で八王子駅前にて救援募金の訴えを行い、短時間に15万279円の募金を集めました。反応の良さに驚きました。

3/19発の健生会支援第3陣に、これまで共立医療会に寄せられた義援金52万6千円余と緊急支援物資（毛布、マスク、衣類、オムツ等）を託しました。



計画停電で事故多発

停電地域の各事業所に注意を呼びかけます！

計画停電で交通事故が頻発しているようです。

駅は鉄道の混乱を避けるため停電にならず、その近隣で同じ送電元になっている箇所は停電にならないようです。そのため、同じ計画停電実施区域で信号が点いたり点かなかったりということがあり、注意が必要です。

また、ここ数日はガソリンスタンド周囲の混乱があり、右折車線が走行車線になっていたり、渋滞の原因がガソリンとわかると反対車線を急にトラックが追い越すなど、交通ルールも何も無い状態です。

震災の影響で気が焦っているのか、自転車や歩行者の信号無視・横断事故もよく見かけられます。各事業所の皆さんにも強く注意をよびかけます。（東都協議会支援対策本部 NEWSより）

東日本大震災 現地支援 東京民医連 3/11～18の到達

支援部隊数	33 隊
全支援者数	139 人
延支援者数	542 日
医師数	27 人
延医師数	107 日
看護師	34 人
延看護師数	132 日
薬剤師	8 人
延薬剤師数	35 日
事務・その他	70 人
延事務・その他数	268 日

皆さんの厚いご支援に

敬意を表します。

現地からの報告（3/18夜：東京民医連 杉浦氏）塩釜市内で避難所2か所を訪問

午前：塩釜第一小は避難者81人の小規模。体育館は寒く油が無いため十分ストーブが炊けない。水道がなんとか復旧し始め、避難者は大幅に減っているとのこと。家を流された一人暮らしのお年寄りにはこれからどうするのか…心が痛みます。足腰の弱いお年寄りはトイレが遠いため、水分を控えてじっとしている方も多く心配です。

午後：高崎中。避難者458人127世帯。比較的若い人、子供も多くにぎやかで「ちびっこボランティアさん集合」の放送も流れる。地震後、便秘がちな方が多いと聞きました。避難所訪問ではライフラインの復旧と、早く福祉の手が必要と感じました。

坂総合病院は重油が入り、制限していた暖房も復活しました。徐々に復旧に向かっていきます。